

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【公開番号】特開2009-268829(P2009-268829A)

【公開日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2008-123932(P2008-123932)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月16日(2011.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体が供されることでゲームの実行が可能となる遊技機であって、

複数の図柄が変動表示される複数の変動表示体を含む変動表示装置と、

1 回のゲームとしての開始条件が満たされると、当該ゲームの始動操作の受け付けが可能となる始動操作部と、

前記始動操作部にて前記始動操作が受け付けられると、複数の有利役および当該有利役以外の複数の一般役を含む複数の当選役の中からいずれかを選び出しうる内部抽選処理を行う抽選手段と、

前記始動操作部にて前記始動操作が受けられると、前記変動表示装置において前記図柄の変動表示を開始させる変動表示開始手段と、

前記変動表示装置にて前記図柄が変動表示されると、当該変動表示されている図柄の停止操作の受け付けが可能となる停止操作部と、

前記停止操作部にて前記停止操作が受けられると、前記内部抽選処理の結果に応じた前記複数の変動表示体を跨る図柄組み合わせにて前記変動表示されている図柄を停止表示させる停止制御手段と、

前記停止制御手段によって前記変動表示されている図柄が停止表示されると、当該停止表示された前記図柄組み合わせに基づいて入賞役を判定しうる図柄判定手段と、

前記図柄判定手段により判定された入賞役に応じた遊技価値を、1 回のゲームで完結する利益として付与しうる遊技価値付与手段と、

前記図柄判定手段により前記複数の有利役のうちの特別有利役に入賞したと判定されたことに基づいて、複数のゲームに亘って前記遊技価値としての遊技媒体が付与される確率が高められる遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

前記図柄判定手段により前記複数の有利役のうちの特定有利役に入賞したと判定されたことに基づいて、複数のゲームに亘って前記遊技価値としての前記遊技媒体が供されることなく次ゲームを実行する権利が付与される確率が高められる遊技者に有利な特定遊技を実行可能な特定遊技実行手段と、
 ____を備え、

前記複数の当選役には、遊技者に不利益を与える不利益役がさらに含まれるとともに、
前記図柄判定手段により前記不利益役に入賞したと判定されたことに基づいて、遊技者に有利な前記特定遊技の実行契機である前記特定有利役に入賞したと前記図柄判定手段により判定されたにもかかわらず、当該特定有利役への入賞が当該特定遊技の実行契機とならない事象を、1ゲームまたは数ゲームに限って生じさせる不利益遊技を実行可能な不利益遊技実行手段をさらに備え、

前記抽選手段は、

前記複数の有利役、前記複数の一般役および前記不利益役のそれぞれに応じた確率でいずれかを選び出しうる前記内部抽選処理として通常抽選処理を行う通常抽選手段と、

前記不利益遊技としての前記1ゲームまたは数ゲームにおいて、前記図柄判定手段により前記特定有利役に入賞したと判定されやすいように、前記内部抽選処理として少なくとも前記有利役のうち当該特定有利役が選出される確率が高められた特定抽選処理を行う特定抽選手段と、を有する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記停止制御手段は、

前記内部抽選処理にて前記不利益役が選出された場合には、

前記変動表示されている図柄が停止表示された際に前記不利益役への入賞を遊技者に把握され難いように、前記不利益役に対応する図柄組み合わせとしての前記複数の変動表示体を跨る図柄組み合わせが少なくとも一つの図柄が他の図柄と異なる図柄の組み合わせにて前記変動表示されている図柄を停止表示させる

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記抽選手段は、

前記通常抽選処理にて前記特定有利役が選出される確率と、前記通常抽選処理にて前記不利益役が選出され且つ当該不利益役が選出されたことに基づく前記特定抽選処理にて前記特定有利役が選出される確率と、が同じかまたは近似する

請求項1または請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するための本発明に係る遊技機は、遊技媒体が供されることでゲームの実行が可能となる遊技機であって、複数の図柄が変動表示される複数の変動表示体を含む変動表示装置と、1回のゲームとしての開始条件が満たされると、当該ゲームの始動操作の受け付けが可能となる始動操作部と、前記始動操作部にて前記始動操作が受け付けられると、複数の有利役および当該有利役以外の複数の一般役を含む複数の当選役の中からいずれかを選び出しうる内部抽選処理を行う抽選手段と、前記始動操作部にて前記始動操作が受けられると、前記変動表示装置において前記図柄の変動表示を開始させる変動表示開始手段と、前記変動表示装置にて前記図柄が変動表示されると、当該変動表示されている図柄の停止操作の受け付けが可能となる停止操作部と、前記停止操作部にて前記停止操作が受けられると、前記内部抽選処理の結果に応じた前記複数の変動表示体を跨る図柄組み合わせにて前記変動表示されている図柄を停止表示させる停止制御手段と、前記停止制御手段によって前記変動表示されている図柄が停止表示されると、当該停止表示された前記図柄組み合わせに基づいて入賞役を判定しうる図柄判定手段と、前記図柄判定手段により判定された入賞役に応じた遊技価値を、1回のゲームで完結する利益として付与しうる遊技価値付与手段と、前記図柄判定手段により前記複数の有利役のうちの特別有利役に入賞したと判定されたことに基づいて、複数のゲームに亘って前記遊技価値としての遊技媒

体が付与される確率が高められる遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、前記図柄判定手段により前記複数の有利役のうちの特定有利役に入賞したと判定されたことに基づいて、複数のゲームに亘って前記遊技価値としての前記遊技媒体が供されることなく次ゲームを実行する権利が付与される確率が高められる遊技者に有利な特定遊技を実行可能な特定遊技実行手段と、を備え、前記複数の当選役には、遊技者に不利益を与える不利益役がさらに含まれるとともに、前記図柄判定手段により前記不利益役に入賞したと判定されたことに基づいて、遊技者に有利な前記特定遊技の実行契機である前記特定有利役に入賞したと前記図柄判定手段により判定されたにもかかわらず、当該特定有利役への入賞が当該特定遊技の実行契機とならない事象を、1ゲームまたは数ゲームに限って生じさせる不利益遊技を実行可能な不利益遊技実行手段をさらに備え、前記抽選手段は、前記複数の有利役、前記複数の一般役および前記不利益役のそれぞれに応じた確率でいずれかを選び出しうる前記内部抽選処理として通常抽選処理を行う通常抽選手段と、前記不利益遊技としての前記1ゲームまたは数ゲームにおいて、前記図柄判定手段により前記特定有利役に入賞したと判定されやすいように、前記内部抽選処理として少なくとも前記有利役のうち当該特定有利役が選出される確率が高められた特定抽選処理を行う特定抽選手段と、を有することを要旨とするものである。